

原発事故による避難者の帰還支援について

平成二十四年二月二十八日（火）閣僚懇  
平野復興大臣 発言要旨

一 現在、原発事故による避難者の帰還に向けた支援について、避難指示区域等を抱える市町村長と意見交換を開始しているところ。

二 今後、避難指示区域の見直しに従って、避難を余儀なくされている方々の帰還を進めることとなるが、避難者の帰還に当っては、区域の線引きや除染、インフラ復旧、雇用の確保等、課題が数多くある。

三 福島県全体の避難者数は約十六万人であり、未だに多くの方々が原発事故等の影響で避難している。この方々の帰還に対する支援は、その規模も大きく、我が国が今までに経験したことのない取り組みである。県とも綿密に協力しながら、政府を挙げて市町村や住民を支援していく必要がある。

四 既に関係省庁の協力を得て局長会議を立ち上げ、種々の問題について検討を開始しているところであるが、関係閣僚の方々には更なる御協力をお願いする。